

9 がん(案)(H.23.5.26版)

〈指標の達成状況〉

改善した	目標値に達した		
	目標値に達していない		
変わらない			
悪くなっている			

※各指標の達成状況については、別添シート参照

〈総括評価〉

○果物類を摂取している人の割合(増加)及びがん検診受診者の増加については、ほぼ目標を達成した。

〈指標に関連した施策〉

○健康増進事業(がん検診)
○がん対策基本法(がん対策推進基本計画)
○がん診療連携拠点病院制度
○女性特有のがん対策の推進

健康日本21の目標値に対する直近値に係るデータ評価シート(案) (H.23.5.26版)

がん分野

記載留意事項・・・各項目の冒頭には、見出しとして分析結果、課題等を要約として記載してください。
詳細なデータ解析をした場合は、解析結果や二次資料を添付してください。

分野:がん			
目標項目:9.4 1日の食事において、果物類を摂取している者の増加(摂取している人の割合)			
目標値	策定時のベースライン値 (H9年国民健康・栄養調査)	中間評価 (H16年国民健康・栄養調査)	直近実績値 (H21年国民健康・栄養調査)
成人 60%以上	29.3%	63.5%	64.1%
コメント			
(1)直近値に係るデータ分析 ・直近値が、目標値に対してどのような動きになっているか、留意点を含み分析	経年変化を踏まえたベースライン値と現状値の分析,特徴(性、年齢、項目別の分類など)を踏まえた分析 ○改善している		
(2)データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。			
(3)最終評価 ・最終値が目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○目標値を達成した。		
(4)今後の課題及び対策の抽出 ・最終評価を踏まえ、今後強化・改善等すべきポイントを簡潔に記載			
(5)その他コメント			

分野:がん			
目標項目:9.7 がん検診の受診者の増加(検診受診者数)			
目標値 指標の目安【検診受診者数】	策定時のベースライン値 (H9年健康・福祉関連サービス需要実態調査)	中間評価 (H16年国民生活基礎調査)	直近実績値 (H19国民生活基礎調査)
a)胃がん 2100万人	1401万人	1777万人	2159万人
b)子宮がん 1860万人	1241万人	1056万人	1086万人
c)乳がん 1600万人	1064万人	842万人	868万人
d)肺がん 1540万人	1023万人	1100万人	1832万人
e)大腸がん 1850万人	1231万人	1432万人	1844万人
コメント			
経年変化を踏まえたベースライン値と現状値の分析,特徴(性、年齢、項目別の分類など)を踏まえた分析			
(1)直近値に係るデータ分析 ・直近値が、目標値に対してどのような動きになっているか、留意点を含み分析	○対象部位毎に変化の程度は異なるが、最近の同じ調査の結果を見ると全て、増加している。 ○胃がん、肺がん、大腸がんについては、数百万単位で受診者数が増加したが、子宮がん、乳がんについては数十万の増であった。		
(2)データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。	○同様の調査でフォローアップ可能であるが、がん対策計画の目標(受診率)との整合を検討すべき。		
(3)最終評価 ・最終値が目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○全体として目標を達成した(ベースラインの調査と異なる調査結果を踏まえた評価となるが、胃がん、肺がんについては指標の目安を達成しており、大腸がんについてもほぼ達成した。但し、子宮がん、乳がんについては、目標の半数程度にとどまっている。)		
(4)今後の課題及び対策の抽出 ・最終評価を踏まえ、今後強化・改善等すべきポイントを簡潔に記載	□アウトカム指標としてはがん登録データを活用する必要があるのではないか。がん検診受診者の増→早期がん発見者数の増に 結びついて いるのか、死亡者数の減少につながっているのか、検討すべきでないか。がん検診で要精検者が何%受診しているのか、正診率など、きちんと した分析結果に基づいて考察すべきでないか。		
(5)その他コメント			